

## 学修・教育目標とその評価方法及びプログラム修了要件

学修・教育目標		(a)~(i)	評価方法 (修得すべき科目群)
A. 幅広く深い教養を修得するとともに、食料の持続的生産・供給、地球環境の保全と修復、動植物の生命現象の解明、食料を通じた人間の健康の維持という農学の役割について理解し、認識を深める。	地球的視点から多面的に物事をとらえる。	(a) (b)	教養科目、新入生セミナー
	農学の役割に関する理解のもとに、農学分野の技術者としての役割と責任について認識を深める。	(a) (b) (c)	フィールド実践演習Ⅰ・Ⅱ、未来農学、食農科学、食農マネジメント論、新入生セミナー、環境システム科学概論
B. 現代の人間社会および自然環境に対する技術の役割と影響を理解し、技術者としての社会に対する責任を自覚できる。		(b)	農学の倫理、農学キャリアデザイン、高度教養セミナー、気候変動へのレジリエンス、
C. 持続的かつ合理的な流域圏の基盤を支える豊かな田園空間環境の実現を目指し、田園空間環境の創出・制御に関わる基礎として、数学・物理学系の工学的手法・アプローチを修得する。	工学的基礎、情報技術等を修得する。	(c) (d) (a)	物理学基礎、応用数学、構造力学、流体力学・水理学、環境解析法、データサイエンス入門、農学データサイエンス基礎、農学データサイエンス応用、デジタル製図
	化学・生物学等自然科学全般に関する知識を修得する。	(d) (c)	田園生態学、植物生態学
D. 現実社会の変化する諸相の中で生起する田園空間環境に関わる様々な問題をフィールドに求め、幅広い分野の科学技術情報を活用して解決策を見いだす能力を修得する。また、課題研究を重視した教育を通じて、論理的な思考力、記述力、口頭発表の表現力、議論する能力、英語を含むコミュニケーション能力、時間的制約下で計画的、自主的に学習・作業を実践する能力を修得し、醸成する。	社会的要求・課題を正しく認識・理解し、直面する課題に対して、総合的考察のもとに、複数の問題解決策を導く能力を修得する。	(e) (f) (g) (h) (i)	環境科学プロジェクト演習、卒業論文
	コミュニケーション能力を修得する。	(e) (f) (i)	環境科学プロジェクト演習、卒業論文、英語科目
	自主的・継続的学修能力を修得する。	(e) (g) (h)	環境科学プロジェクト演習、卒業論文
	与えられた制約下で仕事をまとめる能力を修得する。	(e) (f) (h) (i)	環境工学実験、測定・環境計測実習、環境科学プロジェクト演習、卒業論文
E. 田園空間環境に関わる工学的基礎に基づき、空間の総合的デザイン、食料生産に係る生産環境システムの設計・制御に関する知識・技術・計画手法を修得する。	専門分野の知識・技術を修得する。	(d)	植物生産環境学、動物生産環境学、測定・環境計測学、野生動物被害管理学、流域水文学、バイオマス利用管理学、環境解析法、気候変動へのレジリエンス、圃場機械学、農地環境学、スマート農林業の実践と課題、土壌物理学・土質力学、水利環境工学、空間情報工学、環境科学プロジェクト演習、農業環境工学演習
	専門分野における実験・調査を単独あるいはチームで実行するとともに、データ解析能力を身につける。	(d) (i)	環境工学実験、測定・環境計測実習
卒業要件となる単位数を満たし、総合的達成度を評価する。	要修得単位数124単位を修得すること。		総合試験

JABEE で求められる知識・能力観点

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解
- (c) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用する能力
- (d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
- (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的、継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力